日本キリスト教団 東金教会〔２４〕

2019年6月9日 聖霊降臨節第１主日(ペンテコステ)礼拝

年度目標 《キリストに根を下ろして生きる》

聖句 キリストに根を下ろして造り上げられ、教えられた通りの信仰をしっかり守って… コロサイ2章7節

【礼拝式次第】

司式		朴
奏楽	中	村
受付	阿波	谷本村
案内	藤岡	
名札係	安	延
礼拝感謝祈祷	武	田
〃 〃		
前奏	中	村
招詞	ヨハネ7:37～38	司会者
讃美歌	183	一同
懺悔の祈り		司・会
慰めの言葉	ローマ8:26～27	司会者
主の祈り		一同
新聖歌	421	〃
聖書		
使徒言行録２章１節～４節		朴
祈祷		〃
み言葉の伝え	中	村
「聖霊の臨在」		
讃美歌	499	一同
献金		
礼拝感謝	安	延
〃 〃	武	田
報告		朴
頌栄	541	一同
祝祷(派遣)	中	村
後奏	新聖歌58	聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会 6月１２日(水)午後7:30～
早天祈祷会 月～金7時(土・日・祭日除く
墓前礼拝 本日午後１時
聖書輪読会 6月１６日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会 6月１６日(日)10:25-10:30

【連祷】

司会者 昔、使徒たちが一緒に集まって祈っていた聖書の時代と同じように
一同 聖霊の主よ、来てください。
司会者 私達の冷たい心にも、キリストの愛が熱く燃えるようになるために
一同 聖霊の主よ、炎のように来てください
司会者 争いや不正によって、荒れ果ててしまった町の空にも、鳥が自由に羽ばたくように、
一同 聖霊の主よ、鳩のように来てください
司会者 砂漠に嵐が吹き荒れるように、教会を揺り動かして、み言葉が力強く語られる為に
一同 聖霊の主よ、風のように来てください。アーメン

【報告】

☆本日はペンテコステ礼拝をお守りました。聖霊なる神のお働きを信じ、この神のお導きにより信仰者としての歩みを全うできますよう祈り求めて参りましょう。尚、午後１時よりは墓前礼拝です。お覚え下さい。
☆６月３０日は梅田　　先生が講壇ご奉仕の予定です。お覚え下さい。又、当日は千葉支区の日として第二献金がございます。第二献金は支区内の助けを必要としている教会の御用に用いられます
☆７月１日は支区伝道協議会が千葉教会で持たれます。参加希望者は朴牧師まで申出下さい。
☆７月１６日(月・海の日)「東総分区教会の交わり」がメーヤー館でもたれます。今年は聖書翻訳の歴史および共同訳聖書についての学びです。お覚え下さい。
☆今年の一泊夏期キャンプは７月23(火)・24日(水)と早くもたれます。申込締切は６月１６日までです。又、教会学校一日夏期学校は7月26日(金)に持たれます。お覚え下さい。

【分区・支区・教区報告】

○支区常任委員会 6/13 17:30～於・西千葉

【6月9日～15日の誕生者】

○信行内　姉　○土屋　さん　○椎名　兄
○佐藤　姉　※互いに主に繋がる枝です。祈り合わせて行きましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(6/2)	12	32	44
聖研祈祷会(6/5)	2	3	5
聖書輪読会(6/2)	3	3	6
教会学校(5/19)	5	19	24

早天祈祷会			
日	男	女	計
6/3	1	1	2
6/4	1	1	2
6/5	1	1	2
6/6	1	1	2
6/7	1	1	2

主日礼拝献金(６/２)……３６,０００円
教会学校献金(６/２)……８,５１０円

【今日のメッセージ】

題　［聖霊の臨在］
聖　書　使徒言行録２章１節～４節
1.霊なる神を告白する

2.立ち上がらされて

3.聖霊降臨

【次週(６月１６日)礼拝案内】

題　〈主の喜び、私の喜び〉
聖　書　ルカ福音書１０:１７～２４
讃美歌　６８番　１８６番
新聖歌　３１８番

【次週(６月１６日)礼拝式当番者】

御言葉の伝え	…	朴
司式者	…	井上
奏楽者	…	中村
受付者	…	坂本
案内者	…	中島
名札当番	…	安延
礼拝感謝祈祷	…	石丸
〃 〃	…	猪野
cs お話し	…	岡部
会堂清掃者	…	薬師寺
〃 〃	…	
花係	…	猪野
看板書き	…	澤本

【聖書から】

あなたがたの一人、キリスト・イエスの僕エパフラスが、あなたがたによろしくと言っています。彼は、あなたがたが完全な者となり、神の御心をすべて確信しているようにと、いつもあなたがたのために熱心に祈っています。
コロサイ書四章一〇～一二節

彼パウロはここでエパフラスに言及する。エパフラスはパウロと長く伝道を共にした者ではない。エパフラスは緊急の課題をもってパウロのアドバイスを求めてローマの獄中に在るパウロを尋ねてきたのである。即ち、エパフラスこそコロサイ書をパウロに書かせた主因となった人物である。彼はコロサイ教会の牧師であった。そしてコロサイを始めとする近隣諸教会を悩ませたあのグノーシスに最も頭を悩ませた一人であった。グノーシストは聖書を通しての神のお言葉を直裁に聞こうとしなかった。彼らは聖書の言葉とそこに込められている神のお心を勝手に都合よく自分の意のままにしようとした。神への眞の畏れを持たず、神の言葉を自分の王国に仕える僕としようとし、神の言葉と己の哲学で弄んだ。神への正しい信仰と神の言葉を自らの僕にしようとする企みとの差は紙一枚程の差に見える。しかしその質的な差は途方もなく大きい。人の罪はまるで神の言葉が己の信仰と全く同じであるかのように巧みな嘘で神の言葉を塗り固める。そして自分に合う信仰、自分を正当化する信仰理論をねつ造し、人を騙し、自分をもだます。しかしこのような人造の信仰は偽りの信仰、偽りの神に捧げられた犠牲であり、決して神に受入れられないものである。でも、正しい信仰とは何か。偽りの信仰を作り出そうとする者は聖書の言葉を眞に大切にせず、勝手な解釈をほどこす。しかし正しい信仰は聖書の言葉をそのまま受入れることから出発する、受入れ難いこともある、反発を覚え、異論を唱えたい時もある。また、聖書の言葉はこのままでは何の力も発揮しないと思ったり、時代の要請や社会情勢から対応しきれないのではないかと思ったりする。しかし神は私達より遥かに大きな方である。私達が余分な心配をする必要はないのである。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。